

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	12人
--------------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	5	7	0	0	12

前回の改善計画	●利用開始後は細かい状況をタブレットを活用(写真等)し、職員間での情報共有を行っていく。 ●利用開始時には意識的に関わりを持つことで、ご利用者の不安感を受け止めながら関係作りと情報収集を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	●タブレットの写真の活用や、細かな記録を残し情報を共有することで、職員全員が利用開始直後から同じ対応で支援が行えた。 ●コミュニケーションを多くとり意図的に多くの関わりを持つことで、安心できる関係を築き情報収集も行えた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	5	7	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	3	9	0	0	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか？	7	5	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	8	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●自宅での動線や生活用品の場所の把握等、情報収集し共有している。 ●家族との関わりでは積極的に会話をし、日々の暮らしの中での潜在的なニーズを引き出せる様になっている。また、先に関わっている職員から情報を得る様にコミュニケーションをとっている。 ●安心して利用してもらえるように笑顔で声掛けをするように努め、わからないことや不安なことなど、その場で聞くようにしている。 ●タブレット活用は上手くできている。特に写真が取れることでより具体的に情報共有が可能になり役立っている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●支援方法に変更があった際、タブレットを確認していないと間違った対応をしてしまうことがあった。 ●支援が画一的で柔軟性にやや欠ける面がある。排泄介助はこう、移動介助はこう、と型にはめがちで本人の動きに合わせ切れていない。 ●ご利用者本人が必要としている支援より、ご家族が希望している支援の方が重要視されている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●利用開始前よりタブレットを活用(写真等)し、情報の共有・更新をスムーズに行い、誰が対応しても変わらない支援を行えるようにする。 ●利用開始時には意識的に関わりを持つことで、ご利用者の不安感を受け止めながら関係作りと情報収集を行う。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
2.「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	12人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10	1	0	12

前回の改善計画	●日々のケアの関わりの中から、ご家族や本人の思いを聞き出し、モニタリング時のアセスメントに繋げその人らしさの支援に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	●日々のケアの中でご利用者・ご家族とコミュニケーションを多く取り関係性を築くことで、「やりたいこと」「やりたくないこと」等、その人らしさを大切に支援を行えた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか？	1	7	4	0	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	7	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	8	4	0	12
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	7	4	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●「今やりたいこと」や「楽しみにしていること」を聞き出し共有している。 ●「買い物をしたい」という希望から、移動スーパーの買い物付き添いを行った。 ●関わった内容は記録し、共有できるように努めた。 ●ミーティングや日々の業務内で定期的な振り返りが行えた。 ●本人の様子や生活状況から、言葉にできない思いはどこにあるのか考えながらケアをしている。 ●気付きは職員間に伝え、チームとしての対応に繋がられる様にしている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●普段の業務が手一杯で、余暇時間を充実させることができていない。 ●目標やゴールまで理解しきれていない。 ●ご利用者の「やりたいこと」を実現できる環境(職員体制、時間)が整っていない。 ●本人の「～したい」よりも家族や我々からの「～して欲しい」という気持ちが強くなってしまっていることがある。 ●言葉にできない思いを本当に理解するのは難しい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●日々のケアの関わりの中から、ご本人やご家族の思いを聞き出し、モニタリング時のアセスメントに繋げその人らしさの支援に繋げる。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	12人
------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	5	2	2	12

前回の改善計画	●タブレットの情報を収集し特に担当のご利用者に関しては情報更新等、意識的に取り組む。
前回の改善計画に対する取組み結果	●日々の記録にて支援方法の変化等の情報収集・共有はできているが、ご利用者各々にある訪問手順書(支援内容をまとめたもの)の定期的な更新は行えなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10 個以上把握できていますか?	0	2	10	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	4	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	1	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	11	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●タブレットの記録から、日々の変化を確認し支援している。 ●状況変化に応じた支援が行えた。 ●些細な変化もタブレット記録に残し情報共有に努めた。 ●ご利用者の状態の変化に応じた基礎的な介護ができていた。また、急な体調不良や状態の変化に応じたサービスの変更(通い→訪問へ変更、訪問回数を増やす等)にも対応できた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●普段の業務から事務作業を行う時間が十分に捻出することが難しく、定期的な情報の更新ができていない。 ●各ご利用者担当が意識して取り組むことができていない。 ●以前の暮らし方の把握が十分にできていなかった。 ●変化に対してすぐに対応を変更できていない場合がある。すぐに決断せず、一旦様子を見る形が多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●ご利用者の変化に対応できるよう、日々の支援で得た情報をタブレットにて更新・共有を行う。特に担当のご利用者に関しては情報更新等、意識的に取り組む。	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	12人

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	6	3	1	12

前回の改善計画	●職員の立場にあった利用者への地域との関わり、関係性の構築を図る。(地域行事への参加、商業施設への買い物、運営推進会議等の参加、地域サロン等の情報提供の共有) (前回の改善計画の継続)
前回の改善計画に対する取組み結果	●ふれあいサロンへご利用者も参加していただいたり、お住いの地域の行事に参加できるようサービスを調整する等、地域との関わりを持つ機会の提供と、地域との関係性の継続に努めた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	2	8	2	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	4	5	3	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3	8	1	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	3	7	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●サービスを利用していない時間帯の過ごし方は概ね把握している。 ●本人の生活スタイルや過ごし方、必要と考えられる支援は認識できている。 ●ふれあいサロンで講師として参加させていただくなど、サポートセンター川崎として地域と関わりを持つことができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●単身世帯、高齢世帯の民生委員を全ては把握できていない。 ●民生委員変更時、後任の方が誰になったのか、情報を積極的に収集していない。 ●必要な支援は認識できているが、その一方で必要な支援への具体的な窓口が分からないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●職員の立場にあった利用者への地域との関わり、関係性の構築を図る。(地域行事への参加、商業施設への買い物、運営推進会議等の参加、地域サロン等の情報提供の共有) (前回の改善計画の継続)	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	12人
----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0	8	3	1	12

前回の改善計画	●随時、地域資源の情報収集を行い、必要に応じてご家族・ご利用者に情報提供を行いながら資源の活用に繋げる。 (前回の改善計画の継続)
前回の改善計画に対する取組み結果	●地域資源の情報収集は限られた職員しか行えていなかったが、ご家族・ご利用者の必要とする地域資源の情報を提供し活用に繋げることはできた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	3	5	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	10	2	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	8	3	1	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	8	4	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●ご利用者のご家族も柔軟に対応できることを理解し、利用希望に応じた対応ができている。 ●介護者の状況から、サービスを提案することもしている。 ●自分一人に対応するのではなく、他の職員と情報を共有し、その日・その方に必要な支援を提供することができた。 ●色々な支援(福祉用具など)も含めて幅広く、支援が行き届くように配慮できている。 ●急な変更にも臨機応変に対応することができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●その方に必要な地域資源を把握できていない。 ●その日の職員体制によっては、ご利用者・ご家族のニーズに答えられない状況もあった。 ●予防的に活用できるサービス(訪問歯科診療など)の情報をご利用者皆さんが知っているわけではない。定期的な情報の提供が必要。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●随時、地域資源の情報収集を行い、必要に応じてご家族・ご利用者に情報提供を行いながら資源の活用に繋げる。 (前回の改善計画の継続)	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

6. 連携・協働	メンバー	12人
----------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2	7	1	2	12

前回の改善計画	●新型コロナウイルスの状況をみながら、対策を行い地域の方と交流ができるような計画を立て実施していく。 ●センターを知って頂けるようPRを継続して行い、川崎新聞については川崎コミセン分館へもアプローチを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	●地域の方にセンターに来ていただく機会はほぼなかったが、ふれあいサロン等で交流することができた。 ●ふれあいサロンや川崎新聞にてセンターのPRを継続して行えた。また、川崎コミセン分館様のご協力のもと、川崎新聞をコミセンに置かせていただくことも実施できた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか？	3	3	1	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	2	6	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか？	0	4	3	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	5	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●状態急変時、他サービス事業所と連絡を取ったり、タブレットで情報の共有をしている。 ●川崎神社の子ども神輿の休憩所として、場所を提供し地域交流を図った。 ●ふれあいサロンに講師として参加することができた。 ●今年度も年6回の配布を目標に広報誌を作成し、センターのPRに努めた。 ●地域のクリーン作戦に年2回参加することができた。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●イベント以外で、センターの地域交流スペースの活用がない。コロナ前のような、休憩所としての利用や学生の自習場所としての利用が全くなかった。 ●職員全員が関わっている訳ではなく、係り等限られた職員しか関わっていない。 ●そもそも地域にどんな活動があるか把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●新型コロナウイルス感染症流行以前のような活動が戻りつつあるなかで、センターとしての役割を改めて意識し、状況を見ながら積極的に地域との関りを持てるように計画・実施をしていく。 ●センターを知って頂けるようPRを継続して行い、川崎新聞については川崎コミセン分館へもアプローチを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

7. 運営	メンバー	12人
-------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1	10	1	0	12

前回の改善計画	●今後もアンケートの実施、運営推進会議やご利用者満足度調査からの意見を反映できることから行っていく。 ●地域の方(宿直者、業者の方含む)が来所された際や近隣の方との挨拶等、会話しやすい雰囲気作りを意識し、意見を聞き出せるように関わりを持つ。
前回の改善計画に対する取組み結果	●頂いた意見は、職員間で共有・検討し運営に反映できるよう努めた。 ●地域の方と接する際は会話しやすい雰囲気作りに努めたが、意見交換を行う機会は現状ほぼなく、意見を聞き出せるような関わりを持つには至らなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	4	5	3	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	9	0	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	8	1	1	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	5	4	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●来所者へは積極的に挨拶をし、開かれた施設を目指した。 ●インターホンや電話での素早い対応はできている。 ●地域との交流には節度を持った態度で接することができている。 ●ご利用者、ご家族からの意見等は共有し、運営に反映できるように努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●地域の方から意見をもらうことは運営推進会議のみになっていて、他の機会があまりない。 ●町内、近隣の方と意見交換をする機会が現状はほぼない。 ●地域と協働した取組みを行えていない。 ●火災以外の災害発生時の協働した取組みが実施・検討できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●今後もアンケートの実施、運営推進会議やご利用者満足度調査からの意見を反映できることから行っていく。 ●地域の方(宿直者、業者の方含む)が来所された際や近隣の方との挨拶等、会話しやすい雰囲気作りを意識し、意見を聞き出せるように関わりを持つ。 (前回の改善計画の継続)	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

8. 質を向上するための取組み	メンバー	12人
-----------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	9	0	1	12

前回の改善計画	●係りを中心に事故の分析を行い、日々の職員同士の声掛けやミーティングで振り返り、リスクマネジメントに取り組む。 ●外部研修へは可能な限り、参加できるよう配慮し、研修内容の情報共有ができるよう資料の確認やミーティング等での報告の機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	●ヒヤリハットや事故が起きた際は、職員間で原因・対策を話し合い、ミーティング時にひと月分の集計と経過を振り返ることでリスクマネジメントに取り組んだ。 ●業務が優先となり、職員の大多数が外部研修に参加する機会がなかった。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	5	2	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	7	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	0	4	2	6	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	1	1	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●毎月の事業所内ミーティング時に事業所内研修と、3ヶ月に1回の看護師から医療知識向上の研修を実施している。 ●ミーティングでヒヤリハットと事故報告の集計を行い、その対応を改めて共有し検討している。 ●ヒヤリハットを活用しリスクマネジメントに努めている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●外部研修、地域連絡会への参加がほとんどできていない。 ●地域連絡会等、関わる職員に限られておりほとんどの職員が参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●係りを中心に事故の分析を行い、日々の職員同士の声掛けやミーティングで振り返り、リスクマネジメントに取り組む。 ●外部研修へは可能な限り参加できるよう配慮し、研修内容の情報共有ができるよう資料の確認やミーティング等での報告の機会を作る。 (前回の改善計画の継続)	

(別紙2-2)

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 10月 25日 (14:00 ~15:00)
------------------	-----	------------------------------

9. 人権・プライバシー	メンバー	12人
--------------	------	-----

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3	8	1	0	12

前回の改善計画	●今後も定期的に研修を実施し日々のケアの振り返りを定期的に行い、職員の意識・共有に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	●毎月のミーティング時に園内研修は実施できた。また、ミーティング時に限らず、日々の業務の中で職員間で情報共有ができており、対応に対する振り返りが定期的に行えた。

◆ 今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	11	1	0	0	12
②	虐待は行われていない	11	1	0	0	12
③	プライバシーが守られている	7	5	0	0	12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	4	0	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	6	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
●ご利用者の人権を尊重した対応ができている。 ●認知症の方名義の通帳で引き出しができなくなったご家族へ、成年後見制度を紹介し、各関係機関と連絡を取り利用に繋がった。 ●プライバシーに関して、入浴介助の際は特に気を付けて対応している。 ●人のいる所では会話の声を抑えるなど、一定以上の配慮はできている。 ●これまでご利用者の情報はセンター内で管理していたが、タブレットに切り替わり、個人情報をもって送迎・訪問に出ることになったが、職員それぞれが注意しているため、個人情報の管理ができている。	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
●ご利用者と交流、会話の際に子ども扱いをするような場面も見受けられる。 ●広義には身体拘束や虐待である、と認識される行為(スピーチロック等)が、日頃のケアの中で何気なく出てしまっている。 ●特にスピーチロックは注意しているつもりでも、ふとした時や急いでいる時に出てしまっている。 ●成年後見制度について、必要になってから利用するだけでなく、あらかじめ備えておく必要を感じる。市の発信だけでなく、センターからも情報を伝える必要がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
●今後も定期的に研修を実施し日々のケアの振り返りを定期的に行い、職員の意識・共有に努める。 (前回の改善計画の継続)	